

若狭ネット

第112号 2008年4月23日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会(〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原発に
反対する大阪の会(〒583-0005 藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

耐震安全性評価結果中間報告に関する申し入れと公開質問状 M7.3の直下地震を想定せよ

5月13日、関電本社へ集まりましょう！

新指針によるバックチェック評価で、
「若狭の原発は大丈夫」と本当に言えるのでしょうか？

関西電力本社交渉

5月13日(火)午後6時～

場 所： 関西電力本社
(地下鉄「肥後橋」駅下車 徒歩7分)



(新潟中越沖地震で、柏崎・刈羽原発内の道が波打つ)

4月10日、私たちは、関西電力に対して、
申し入れと質問書を提出。
5月13日に 回答を求めよう！

関西電力は、3月31日に国、福井県、立地町などに「原発の耐震安全性評価中間報告」を提出しました。しかし、私たちに公開された中身では、大飯、高浜原発に関する地震動評価の詳細データは公表されておらず、美浜原発に関しても、野坂断層帯と海域断層が連動する場合の断層モデルは明らかにされていません。原発の耐震性に関わる重要ななところでは、非公開のままです。これでは、誰も中間報告の妥当

性を客観的に評価することはできません。より詳しいデータを即刻公開し、誰でもが、なるほどと納得できるものでなければなりません。関西電力の検討した結果を客観的に評価できる状態にさせねばなりません。そこで、関西電力に次の申し入れを行いました。

申し入れ

1. 今回の中間報告の全文を公開すること
2. 福井と大阪で中間報告に関する公開説明会を開くこと。

そして、次のような質問をしました。

1. 今回の再評価によって、多くの活断層が

一人ひとりが何をできるかを語り合い、行動につなげてゆく！

「見えない雲」の上映をしました

福井県越前市 山崎 隆敏

1月の初め、敦賀市の杉原厚子さんから「3月に敦賀市で、ドイツ映画『見えない雲』を上映する。丹南地域でも上映してほしい」と電話がありました。今年82歳になる杉原さんは足が悪く、外に出てチケットを売り歩けないため、主に電話依頼でさばくのだそうです。これまでも、『東京原発』『六ヶ所村ラプソディー』など原発の映画を上映し成功させてきました。

「高速増殖炉に技術的未来はなく経済的にも割に合わない。もんじゅは壮大な税金の無駄遣いに過ぎないということを敦賀市民のほとんどが知らない。市民に本当のことを知らせたい」と彼女は言います。

その敦賀では210人が映画を観に来、400枚チケットが売れたと聞きます。原発立地自治体での運動は困難であるこれまで私たちはいつも言ってきましたが、それは単にやり方が悪かっただけなのか、それとも市民の意識状況が変わってきたのか、ともあれ喜んでよい傾向には違いありません。もっとも年配の人が多かったそうですが、しかしこれは敦賀市民に限った傾向ではありません。

私たちの丹南地域(嶺北地方の中央部)の上映会では、残念ながら3回の上映で125人しか観に来てもらえませんでした。でも、よく見かける顔ぶれは少なく、新聞や折り込みチラシをみてきた人が多くあったようです。プレイガイドでもチケットがよく売れていました。

今年私は村の副区長をしていますが、一人の役員から「折り込みチラシを読んだ。役員会でなぜ映画のことを呼びかけなかったのか(水臭い)」と言われました。12年前に私が初めて選挙に出たとき、区長をしたこともない者がと反発した男性で、その後もよい関係ではなかったため意外な一言でした。人々の

心の中で変化がおきつつあるのだと思います。原発の存在、もんじゅの運転再開を快く思っている県民は多くはいないと思います。その意味では今やもう啓蒙の段階ではないのでしょうか。一人ひとりが何をできるかを語り合い、行動につなげてゆく方策を探る「懇談会」のようなものを提案してゆきたいと考えています。日本原子力研究開発機構が、敦賀市に引き続き嶺北地方でも「もんじゅ」の運転再開に向けた住民説明会をはじめようです。とりあえずは、そこに出かけて質問ができるようにみんなで勉強する場をつくってゆくつもりです。

10月予定の「もんじゅ」の運転再開が、ナトリウム漏れ検出器の損傷問題で延期となる模様です。天は少しだけ私たちに時間的猶予を与えてくれました。

私事にわたり恐縮ですが、6月に私たち夫婦は字名が「熊の手」という山村に移り住み自然的暮らしを始めます。かなり広い土地を驚くほど安価で入手できたので、いろんなことができそうです。屋敷内には大きな栗と胡桃の木、タラの芽や野カンゾウ、水蓼など山菜も色々と芽吹いており、お地蔵さんも鎮座ましましています。

「山崎はまじめすぎるから面白くない」「堅い話ばかりするから人が寄ってこない」と、かみさんからも指摘されています。そこで、皆で美味しいものでも食べながら気楽に語り合う場をできるだけ多く作り出してゆきたいと思います。手を替え品を変え粘り強く今後もやってゆきたいと思います。

最後になりましたが、全国の皆さんからの新聞折り込みの資金カンパを有り難うございました。

今後の予定

4月27日(日)午後1時～4時半
繰り返さないで!チェルノブイリ
「被災地の友人たちとともに
に未来を見つめて」

場 所: ヒューマインド

(JR環状線「芦原橋」駅下車 徒歩7分)

主 催 チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西

0797-74-6091(たなか)



5月 5日(月)午前10時～12時半
9条世界会議 - ICBUW主催「自主企画」
劣化ウラン兵器の禁止

場 所: 幕張メッセ(千葉) 中会議室301B

連絡先 090-3941-6612(ふりつ)

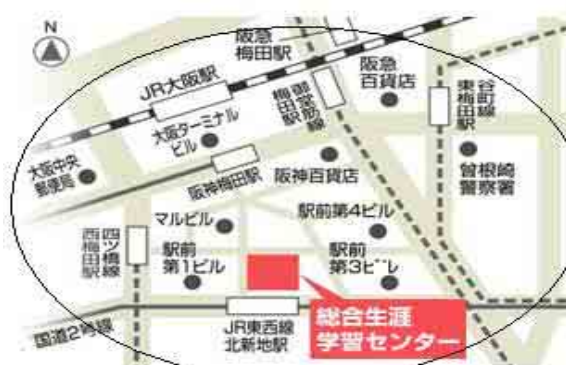
5月7日(水)午後6時半から8時半
世界の運動と連帯し
ウラン兵器の禁止を!

場 所: 大阪市立総合生涯学習センター(梅田)

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500

大阪駅前第2ビル5・6階

連絡先: 090-3941-6612(ふりつ)



5月13日(火)午後6時～

関西電力に 原発の耐震性についての回答 説明会

場 所: 関西電力本社 (地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車 徒歩7分)

編集後記

- 今回のニュースも分厚いペジ数になってしまいました。原発を止めるためには、原発の耐震性の問題点をはっきりとさせるためです。断層モデルから地震動を予想しても「原発の安全性」を保障するものにはなっていないことが明らかにしたつもりです。実際に原発を緊急停止させた新潟県中越沖地震は起こってしまったのですから。

きよ子